

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 1 区分

【発行日】平成 17 年 11 月 17 日 (2005.11.17)

【公表番号】特表 2003-529515 (P2003-529515A)

【公表日】平成 15 年 10 月 7 日 (2003.10.7)

【出願番号】特願 2001-523340 (P2001-523340)

【国際特許分類第 7 版】

C 0 6 B 23/04

B 0 1 J 7/00

B 6 0 R 21/26

C 0 6 B 29/04

C 0 6 B 29/22

C 0 6 B 31/08

C 0 6 B 31/30

C 0 6 D 5/00

【F I】

C 0 6 B 23/04

B 0 1 J 7/00 A

B 6 0 R 21/26

C 0 6 B 29/04

C 0 6 B 29/22

C 0 6 B 31/08

C 0 6 B 31/30

C 0 6 D 5/00 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 4 月 2 日 (2004.4.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 燃料としてのシリコン；

金属および非金属過塩素酸塩からなる群から選択された酸化剤；および
アルカリ、アルカリ土類および遷移金属炭酸塩、重炭酸塩、シュウ酸塩ならびに水酸化物
からなる群から選択された冷却剤
を含む、ガス発生剤組成物。

【請求項 2】 さらに：

金属および非金属硝酸塩からなる群から選択された二次的酸化剤
を含む、請求項 1 に記載のガス発生剤組成物。

【請求項 3】 酸化剤が、過塩素酸カリウム、過塩素酸アンモニウムおよび過塩素酸
リチウムからなる群から選択される、請求項 1 に記載のガス発生剤組成物。

【請求項 4】 組成物が：

シリコン；

過塩素酸カリウム；および

炭酸ストロンチウム

を含む、請求項 1 に記載のガス発生剤組成物。

【請求項 5】 組成物が：

シリコーン；
過塩素酸カリウム；および
シュウ酸ストロンチウム
を含む、請求項 1 に記載のガス発生剤組成物。

【請求項 6】 組成物が：

シリコーン；
過塩素酸カリウム；および
シュウ酸カルシウム
を含む、請求項 1 に記載のガス発生剤組成物。

【請求項 7】 組成物が：

シリコーン；
過塩素酸カリウム；および
炭酸カルシウム
を含む、請求項 1 に記載のガス発生剤組成物。

【請求項 8】 組成物が：

シリコーン；
過塩素酸カリウム；および
水酸化マグネシウム
を含む、請求項 1 に記載のガス発生剤組成物。

【請求項 9】 組成物が：

シリコーン；
過塩素酸カリウム；および
炭酸マグネシウム
を含む、請求項 1 に記載のガス発生剤組成物。

【請求項 10】 組成物が：

シリコーン；
過塩素酸リチウム；および
炭酸ストロンチウム、炭酸カルシウム、シュウ酸ストロンチウム、炭酸マグネシウム、水酸化マグネシウムおよび炭酸カリウムからなる群から選択された冷却剤
を含む、請求項 1 に記載のガス発生剤組成物。

【請求項 11】 10～25%のシリコーン；

30～85%の金属および非金属過塩素酸塩からなる群から選択された一次的酸化剤；および

1～30%のアルカリ、アルカリ土類および遷移金属炭酸塩、シュウ酸塩、重炭酸塩ならびに水酸化物からなる群から選択された冷却剤

を含み、該百分率は、ガス発生剤組成物の重量に対して示される、ガス発生剤組成物。

【請求項 12】 さらに：

ガス発生剤組成物の 30～50 重量%の非金属、アルカリ金属、アルカリ土類金属および遷移金属塩素酸塩、硝酸塩、亜硝酸塩および酸化物からなる群から選択された少なくとも 1 種の二次的酸化剤

を含む、請求項 11 に記載のガス発生剤組成物。

【請求項 13】 少なくとも 1 種の二次的酸化剤が、相安定硝酸アンモニウム、硝酸アンモニウム、硝酸ストロンチウムおよび硝酸カリウムからなる群から選択される、請求項 12 に記載のガス発生剤組成物。

【請求項 14】 エアバッグを膨張させる方法であって：

シリコーン、金属および非金属過塩素酸塩からなる群から選択された酸化剤、ならびに金属炭酸塩、金属シュウ酸塩、金属重炭酸塩および金属水酸化物からなる群から選択された冷却剤を含むガス発生剤組成物を燃焼させる
段階を含む、前記方法。

【請求項 15】 シリコーンを 10～25%で提供し、酸化剤を 30～85%で提供

し、冷却剤を 1 ~ 30 % で提供し、該百分率は、ガス発生剤組成物の重量に対して示される、請求項 14 に記載の方法。

【請求項 16】 10 ~ 25 % のシリコーン；
30 ~ 85 % の過塩素酸カリウム；および
1 ~ 30 % のアルカリ金属、アルカリ土類金属および遷移金属炭酸塩、シュウ酸塩および水酸化物からなる群から選択された冷却剤
を含み、該百分率は、ガス発生剤組成物の重量に対して示される、ガス発生剤組成物。

【請求項 17】 冷却剤が、炭酸ストロンチウムである、請求項 16 に記載のガス発生剤組成物。

【請求項 18】 10 ~ 25 % のシリコーン；
30 ~ 85 % の過塩素酸カリウム；および
1 ~ 30 % の炭酸ストロンチウム
を含み、該百分率は、ガス発生剤組成物の重量に対して示される、ガス発生剤組成物。

【請求項 19】 20 % のシリコーン；
60 % の過塩素酸カリウム；および
20 % の炭酸ストロンチウム
を含み、該百分率は、ガス発生剤組成物の重量により示す、請求項 18 に記載のガス発生剤組成物。

【請求項 20】 請求項 1 ~ 13 および 17 ~ 19 のいずれかに記載のガス発生剤組成物を備えた乗員身体拘束システム。

【請求項 21】 請求項 1 ~ 13 および 17 ~ 19 のいずれかに記載のガス発生剤組成物を備えたインフレーター。

【請求項 22】 請求項 1 ~ 13 および 17 ~ 19 のいずれかに記載のガス発生剤組成物を備えたガス発生器。

【請求項 23】 エアバッグおよび請求項 1 ~ 13 および 17 ~ 19 のいずれかに記載のガス発生剤組成物を備えたガス発生器アセンブリ。